

ガス内管設計支援システムを販売 CAD操作不要、見積もり自動作成

1964年の創業以来、都市ガスパイプライン事業に関わる測量、調査、設計、維持管理などの業務のほか、システム開発を手

掛ける東京技工（東京都千代田区、林光男社長）は、ガス内管工事

設計支援システム「Autosome（オートアイソム）」を開発し、販売に力を入れている。

ガス化提案の営業の際に必要な顧客への見積もり提示では、見積もり設計作業が担

加えた。

同社では、2016年から仕様変更による省施工化への取り組みを開始しており、今回も壁パネルの構造見直しを図り、1台につき約40分の施工時間の短縮を実現した。16年時点で約6時間以上かかっていた施工時間（1人施工の場合）を、2時間30分（約4割）にまで削減することができるようになった。また、デザインについて、ト

レンドに合わせたパネル柄を多く用意した。

自然な素材感で近年注目を集めるテラゾー柄や目を引く鮮やかなキャンパスイエロー、人気のインダストリアルテイストのコンクリートグレーなどをラインナップしている。

今回のリラクシアMPタイプの発売により、新築マンション向けの浴室販売台数を22年度までに2倍に伸ばすとしている。

当者の負担となっている。この負担軽減を目的に開発されたのが「オートアイソム」だ。システム導入により、設計基準の統一化、見積もり精度の向上、迅速な見積もり作成、社員の設計スキルアップ、コスト削減が図れる。

同システムは、ガスパの長さやガス流量など圧力損失計算を行う

のに必要な数値を入力すると、設計指針に基づいた圧力損失値を自動で計算。さらに、圧力損失値を基に流量に最適な口径を求めることができる。市販のCADソフトを使わずにアイソム図（等角投影図）を自動作成できるため、CAD操作の習得は不要。描き出した結果を編集する簡易作図機能、配管およびシンボル（部材）の数量を自動集計する機能も搭載しているのが、見積書作成時の拾い漏れの心配がない。

ラインアップは都市

ガス低圧版と中圧版、LPガス版の3タイプ。

LPガス販売事業者からの問い合わせが増えてきており、実際に導入実績も出始めている。2020年11月現在、5社が導入している。

